

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却について

什器備品および設備造作……定額法による減価償却を実施している。

(2) 引当金の計上基準について

役員退職慰労引当金……役員退職慰労金規定に基づき期末要支給額に相当する金額を計上している。

退職給付引当金……期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込み方式を採用している。

2 特定資産の増減額およびその残高

特定資産の増減額およびその残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
事業強化積立資産	15,000,000	0	0	15,000,000
審査業務調査研究資金積立資産	45,000,000	0	0	45,000,000
役員退職慰労引当資産	5,000,000	500,000	5,500,000	0
退職給付引当資産	5,367,942	4,801,381	0	10,169,323
広告原稿制作費引当資産	8,000,000	0	8,000,000	0
合 計	78,367,942	5,301,381	13,500,000	70,169,323

3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
事業強化積立資産	15,000,000	0	(15,000,000)	0
審査業務調査研究資金積立資産	45,000,000	0	(45,000,000)	0
退職給付引当資産	10,169,323	0	0	(10,169,323)
合 計	70,169,323	0	(60,000,000)	(10,169,323)

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額および当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,646,304	1,386,556	2,259,748
合 計	3,646,304	1,386,556	2,259,748